



日本のインターネット利用人口は 1,937.7 万人 (2000 年 2 月末現在) 携帯電話/PHS によるインターネット利用率は 14.5% (パソコンとの併用を含む)

アクセス メディア インターナショナル株式会社(以下 AMI と略す 本社: 東京都港区北青山、代表取締役: 越智 淳夫)は 2000 年 2 月末までの日本のインターネット利用人口をまとめました。

本調査は 1996 年から毎年数回、電話による普及率調査と郵送による利用実態調査を行なっている「AMI 日本のインターネット動向調査 2000」に基づくもので、本リリースでは予測を含めたインターネットの利用人口推移をお知らせいたします。

【本リリースのポイント】

- 2000 年 2 月末時点で、日本のインターネット利用人口は 1,937.7 万人
- 世帯普及率は 20.09%、家庭以外での利用を含んだ世帯浸透率は 24.63%
- モバイル環境だけでの利用者はインターネット利用人口の 0.3%
- 同時に調査を行なった携帯電話/PHS の世帯普及率は 58.21%
- 携帯電話/PHS によるインターネット利用率は 14.52%(パソコンとの併用含む)
- 2000 年 12 月には 2,260 万人に達する見込み

(小数点以下の単位は「インターネット白書 2000」掲載数値に合わせた)

AMI インターネット動向調査と市場予測

◆ 全国のインターネットの利用人口は昨年同時期(1999 年 2 月)の 1,508.5 万人から 128.5%と伸び 1,937.7 万人に達した。これは AMI が 1996 年より毎年行なっている、全国レベルの電話による普及率調査(調査対象:108,009 世帯、有効回答数:34,260 サンプル)によるものである。この一年で新たに 429.1 万人がインターネットを利用し始めたことになるが、ここ最近の大きな特徴として、インターネット利用者のいる世帯では他の家族も利用を始める傾向にあり、夫の影響で妻が、親の影響で子供が、というように女性利用者や若年の利用者が増加している。また学校/勤務先でインターネットを始めた利用者がパソコンを購入して自宅で、一方自宅でインターネットを始めた利用者が学校/勤務先でも利用し始める傾向にあり、パソコン出荷の増加との相乗効果が大きい。

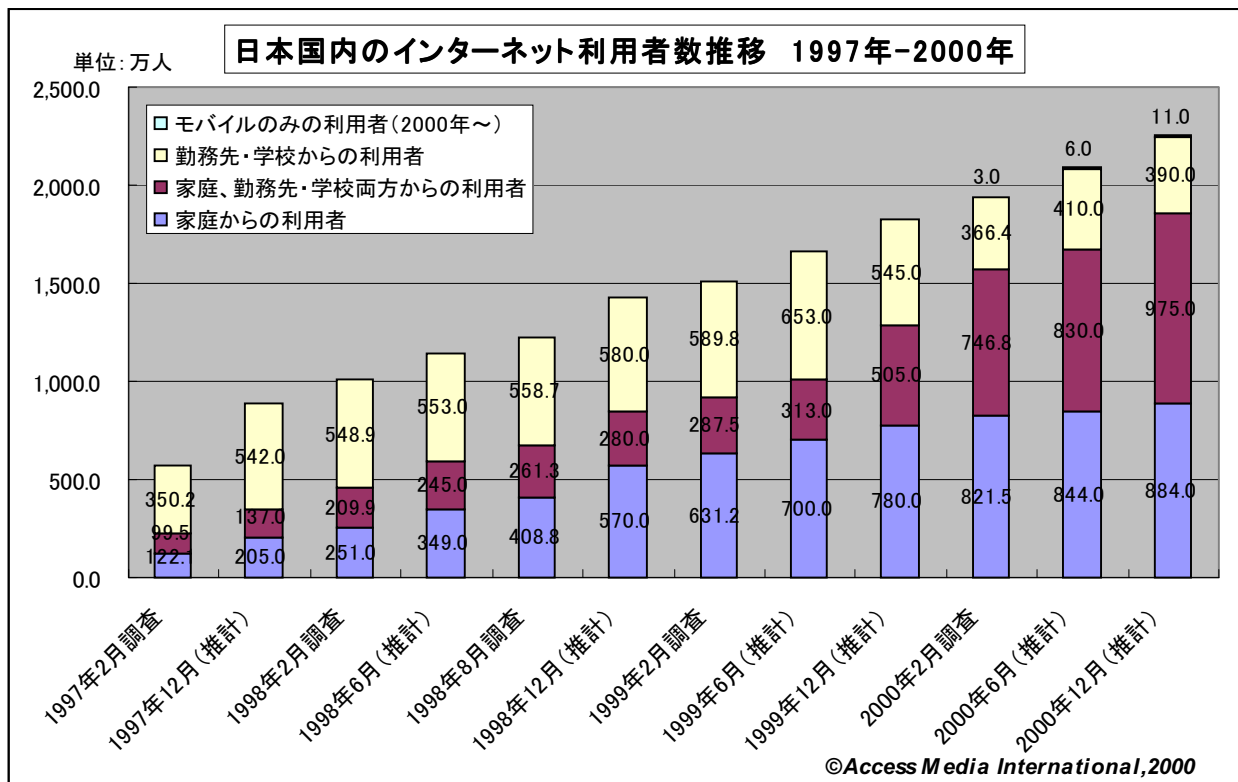
◆今年には携帯電話利用者の増加を背景に、携帯電話あるいはPHSを利用してインターネットに接続している利用者の規模、あるいは自宅や勤務先/学校以外のモバイル環境でのインターネット利用者規模をも把握することを目的とした。その結果、携帯電話/PHSの所有世帯は58.2%、所有世帯の平均所有者数1.84人、平均所有台数は2.04台、携帯電話/PHSによるインターネット利用率は14.5%にのぼった。地域格差はあるものの全国的に携帯電話/PHSによるインターネット利用が進んできていることが数字にも表れている。ただし、これら利用者の大多数は他の機器でもインターネットを利用できる環境にあり、携帯電話/PHSのみでインターネットを利用している率は低い。ポケットボード等の利用者同様に、携帯電話/PHSで初めてインターネットを利用した人の多くが、パソコンでのインターネット利用に移行しており、時系列のある一点をとった場合、携帯電話/PHSだけのインターネット利用者はさほど多くないといえる。

このインターネット利用の前提となる携帯電話/PHSの普及率を検証すると、携帯電話の累計加入者数は携帯電話会社各社の算出合計で4,986.9万人(2000年2月末)、PHSの累計加入者数は566.4万人と発表されている。今回の調査結果から出荷台数を換算すると、日本国内全世帯4,681.2万世帯に対して携帯電話の普及率54.5%、PHSの普及率6.5%、重複も含めた携帯電話/PHSの普及率は前述のように58.2%であった。これに世帯あたりの平均所有台数2.04台をかけると5,558.8万台となり、携帯電話会社から発表されている累計加入者数との誤差は少ない。

◆利用場所別にみると「モバイル環境」だけでインターネットを利用している人は利用者全体の0.3%だが、「自宅とモバイル」は0.8%、「勤務先とモバイル」は0.6%、「自宅と勤務先とモバイル」は3.3%に達し、これらの合計、約65.9万人が「モバイル環境」からインターネットを利用していることになる。

(表1)日本のインターネット利用人口推移 1997年～2000年

*2000年6月、12月は予測値



(表 2) 日本国内インターネット利用者数推移 (単位: 万人)

	家庭からの利用者	家庭、勤務先・学校 両方からの利用者	勤務先・学校からの 利用者	モバイルのみの利 用者(2000年～)	インターネット 利用者総数
1997年2月調査	122.1	99.5	350.2	—	571.8
1997年12月(推計)	205.0	137.0	542.0	—	884.0
1998年2月調査	251.0	209.9	548.9	—	1,097.7
1998年6月(推計)	349.0	245.0	553.0	—	1,470.0
1998年8月調査	408.8	261.3	558.7	—	1,288.8
1998年12月(推計)	570.0	280.0	580.0	—	1,430.0
1999年2月調査	631.2	287.5	589.8	—	1,508.5
1999年6月(推計)	700.0	313.0	653.0	—	1,666.0
1999年12月(推計)	780.0	505.0	545.0	—	1,830.0
2000年2月調査	821.5	746.8	366.4	3.0	1,937.7
2000年6月(推計)	844.0	830.0	410.0	6.0	2,090.0
2000年12月(推計)	884.0	975.0	390.0	11.0	2,260.0

◆なお、これらの結果と詳細データについては6月19日発売の「インターネット白書2000」(日本インターネット協会編、インプレス刊)でも一部掲載される予定です。

◆この調査では、日本におけるインターネット普及の状況、パソコンや携帯電話など利用機器ごとの利用者規模、あるいは自宅、勤務先/学校、モバイルそれぞれの環境でのインターネット利用者規模、同一世帯内での家族の利用状況など、様々なセグメントごとの市場規模を調査しましたが、これらの「インターネット白書2000」に掲載しきれなかった完全レポートは、AMIマーケットスタディ「日本のインターネット動向調査2000」レポートとして販売いたします。弊社へ直接お問い合わせください。

AMI Market Studies「日本のインターネット動向調査2000」

■レポート構成

1. インターネット利用者(パソコンユーザー個人編)
2. インターネット利用者(携帯電話/PHS個人編)
3. パソコン所有者・パソコン購入予定者
4. インターネット利用企業(企業編)

■納品形態

紙出力バインダーまたは、CD-ROM(単純集計表・クロス集計表/PDFファイル、グラフ/Excelファイル)にてご提供。

アクセス メディア インターナショナル株式会社の概要

弊社は東京、ニューヨーク、シンガポール、ニューデリーに拠点を置き、以下の4つの事業を柱にデジタルメディア関連市場に関するコンサルティング、リサーチを行っている会社です。

- Consulting** パソコンハードウェア、ソフトウェア、インターネットから家電やカーナビゲーションシステムに至るまで、製品・サービスの企画、ターゲット市場の設定等、マーケティング戦略の策定 PR やコミュニケーションプラン、海外進出・新規分野への参入をはじめとする事業展開への支援など、ハード、ソフトメーカー、流通、小売業、広告代理店等に対するコンサルティングを行います。
- Research** インターネット白書(インターネット協会監修)、パソコンソフトウェア白書(パーソナルコンピュータソフトウェア協会監修)、デジタルコンテンツ白書(デジタルコンテンツ協会監修)へのオフィシャルデータの提供をはじめとして、世界の企業・家庭における情報化投資と利用実態の調査、情報機器関連製品の出荷調査、チャネル特性、構造の流通調査等々、各種リサーチ活動、情報提供サービスを行います。
- Alliance** コンピューター関連会社同士の業務提携、コンテンツ・ビジネスや異業種への参入における提携先やビジネスパートナーの斡旋を行います。また、投資先・提携先としてのベンチャービジネスの実績や将来性の評価、ビジネスコンサルティングにも大きな期待が寄せられています。
- Others** 渡辺プロダクショングループとの共同による「ワタナベ・デジタル・メディア・コミュニケーションズ」の設立やアニメーション制作会社「スタジオぴえろ」への出資などインターネットや DVD、デジタル衛星放送等のデジタルメディア技術を利用した事業展開とそれらに関するコンテンツの制作、コンファレンス・イベント等を企画実行します。

ー本リリースに関するお問い合わせ先ー

アクセス メディア インターナショナル株式会社
TEL: 03-5467-5772 FAX: 03-5467-5785

E-mail: pub@ami.co.jp

Internet: <http://www.ami.co.jp/>

<http://www.accessmedia-int.com/>